

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		5,009	t-CO ₂
①を除外した温室効果ガス換算排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素 (③を除く。)		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素 (発電所等配分前)		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量 (①～⑩合計)		5,009

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	3,950	t-CO ₂	4,590	t-CO ₂	4,501	t-CO ₂	4,764	t-CO ₂	5,009	t-CO ₂
削減率 (対 基準年度)			▲ 16.2	%	▲ 13.9	%	▲ 20.6	%	▲ 26.8	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率 (対 基準年度)						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
原単位あたりの排出量										
削減率 (対 基準年度)				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率 (対 基準年度)						%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価 (目標の達成/非達成の理由)

毎年 1%以上の温室効果ガス総排出量削減を目標に活動を続けてきたがコロナ明け以降、来場頂くゲスト数の増加や営業時間の増加によりエネルギー使用量が増加し省エネ施策や太陽光発電設備設置などを推進し省エネ改善の成果をあげているにも関わらずエネルギー消費量が増加しその結果温室効果ガス削減は目標未達となった。
 今後は適切な原単位分母による原単位あたりの排出量削減へ目標設定を見直す。

- 備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考 4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理／エネルギー使用量等の把握及び管理	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネ委員会を設置し、取り組み目標を設定 ・省エネパトロールの実施 ・エネルギー使用量の把握・計測・分析 ・計測・計量機器導入による見える化範囲の拡張 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回/2ヶ月の開催 ・省エネ委員会の間の月に実施 ・新設設備の使用量見える化 	<ul style="list-style-type: none"> ・サステナビリティ委員会に名称変更し1回/3ヶ月の委員会開催及びパトロールを継続実施中 ・見える化システムによるエネルギー使用量の把握、管理継続実施中
省エネルギー・省資源の推進／冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> ・空調管理の運転時間、温度の適正管理 		<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルのフロアクローズによる空調負荷の削減継続実施中
省エネルギー・省資源の推進／照明	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク照明制御システム導入による点灯時間適正化 		<ul style="list-style-type: none"> ・休園、休館、営業時間変更に応じた点灯、消灯タイマー設定の適宜見直し継続実施中
省エネルギー・省資源の推進／その他	<ul style="list-style-type: none"> ・空調デマンド制御追加 		<ul style="list-style-type: none"> ・空調デマンド制御機能継続使用中

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)
令和5年	太陽光発電設備	建屋屋根3ヵ所 PCS容量200kW 年間発電電力量343MWh
令和6年	太陽光発電設備	建屋屋根2ヵ所 PCS容量99.8kW 年間発電電力量138MWh

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・トイレへの擬音装置導入、プール等の水位制御による不要排水防止を継続実施中 ・ペーパーレス化、古紙の分別回収、生ゴミリサイクル継続実施中 ・プラスチック削減 (飲食施設/カトラリー、ホテル/アメニティー、シャンプー) 継続実施中 ・環境教育の実施
--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> ・金城ふ頭まちづくり協議会主催合同清掃活動 継続実施中
